

第1回 リスナー参加型 天下一学問会

中学レベル 解答解説 国語

作問者:すえよし。
問題数:大問三問
選択と記述式
解答時間:三十分

中学国語・解答解説

出題背景

高校入試で出題されそうな問題形式、つまり説明文、物語文、古文、漢字や文法を問う小問集あたりから選びました。

なお、物語文はChatGPT等を利用して作成しようと思った時もありましたが、問題の作成時間的に断念しました。次があるなら、挑戦したいところです。

難易度は易、ということで基本的に選択式でかつネタ選択肢も用意しました。古文の問題内容から、難易度が難化してしまった気がします。なお、古文はわかりにくいところがあるかなと思うので、長めの解説になります。

解説

第一問

説明文。

Vtuberが受験される事が多いだろうと思い、あまり迷わずWikipediaからVtuberに関する出題と決めていました。Vtuberが受験される事が多いだろうと思い、あまり迷わずWikipediaからVtuberに関する出題と決めていました。

Wikipediaの文章の良し悪し、あるいは信頼性や正確性等について、思うところがある方もいらっしゃると思いますが、著作物の観点で言えば非常に扱いやすいので採用しました。

問一a(5点) 正解:(ウ)

原文は「活動」です。

(ア)同銀:将棋の棋譜で使う言葉ですね。一般的ではないのは自覚していますが、ついで。

(イ)労働

(ウ)運動

(エ)剣道

問一b(5点) 正解:(エ)

原文は「現在」です。

(ア)言語

(イ)天元:「碁盤の目の中央にある黒い星。(goo辞典より)」他の意味もありますが、囲碁の用語から。

(ウ)限定

(エ)現局面:これも将棋や囲碁での言葉です。ついうっかり。

問二a(5点) 正解:(イ)

本文の前半の空欄部分では『バーチャルYouTuberとは、「アバター自身」や「アバターを使う配信者」のこと』ということが書かれています。

「アバター自身」か「アバターを使う配信者」、ということで「もしくは」や「または」、「あるいは」等が当てはまります。

(ウ):『ジョジョの奇妙な冒険』に登場する空条承太郎の口癖。実はよく知らずに、選択肢に入れました。

問二b(5点) 正解:(ウ)

空欄の前後は、真逆のことが書かれていないので逆接は当てはまりません。前後が密接に関係しているかといえば、つながりはゆるいので「ってことは」も合わないです。話の付加という意味で「また」が当てはまります。

問三(10点) 正解:(ア)

諸説あるとは思いますが、本文では『「バーチャルYouTuber」とは、2016年12月にキズナアイがYouTuber活動を行う際に名乗り、初めて使用された名称である。』と書かれています。

ちなみに本文を読んだ上で、(オ)で熱く語っていただいてもOKかな、と個人的に思います。

問四(10点) 正解:なにかが弾けて

本文に『2017年末頃より強い注目を受けたタイミングから総称としての使われ方をされるようになったとされ、キズナアイはこの時期を「なにかが弾けて一気に注目されたタイミング」と表現している。』とあります。

解答の探し方としては、バーチャルYouTuberの黎明期、つまり「2017年末頃」をキーワードとして、本文で探すと見つかりやすいかと思います。

問五a, b(各5点)

アンケート的なノリで作問しましたが、普通に作文という問いでもあると気づいたので、学生の作文を採点する感じで塾講師時代の経験を元に採点基準を設けました。

採点基準:「表記」と「内容」に分けて減点法で採点します。

表記(2点):誤字や脱字あるいは誤用がない、文体の統一、文法上の誤りがない等。

内容(3点):質問に対する回答か、文章構成が適切か、自身の意見や考えが書かれているか等。

第二問

古文。

昔の言葉のルールなんて、今の時代必要か?等と、よく言われている気がしますし、色々な意見があるとは思いますが、現状、学校教育でも必須なので教養として取り上げました。

なお、入試でよく取り上げられる作品の中から源氏物語を採用しました。他の作品も候補にあったのですが、原文と口語訳のライセンスから決めました。

古文の勉強の必要性について個人的な考えとしては、古文を読み解くことは専門家に任せて、現代では雑学として活かされればと思います。そこで、古典知識に寄り過ぎない問題にしようと思ったのですが、それでも従来の古典知識が必要な問題になってしまったかな、と反省しています。

なお、「光る源氏」という表記にツッコミを入れていらっしゃる方が結構いらっしゃったので補足します。「光源氏」という表記が、ネット上でもリアルでも一般的かなと思います。

ですが、藤原定家と「源氏物語」の書写校勘に関する研究をされている高千穂大学名誉教授の渋谷栄一氏が、自身のサイト(今回の問題の引用元です)で「光る源氏」という表記を用いていらっしゃるの、それに合わせました。

GENJI-MONOGATARI

<http://www.sainet.or.jp/~eshibuya/>

今回の題材(源氏物語の車争い)について、わかりやすいと思った解説動画を参考として以下に紹介します。

【高校古文】葵・車争い(前半)〈源氏物語〉音読・内容解説 | 万葉授業

<https://www.youtube.com/watch?v=K0k7AL0NILI>

【高校古文】葵・車争ひ(後半)〈源氏物語〉音読・内容解説 | 万葉授業

https://www.youtube.com/watch?v=d_wJb9nO3M8

問一a(5点) 正解:(ウ)

変換のルールの一つに、語頭と助詞以外の「はひふへほ」は、は→わ、ひ→い、ふ→う、へ→え、ほ→お、に置き換える、というものがあります。

問一b(5点) 正解:(ウ)

変換のルールの一つに、以下のように置き換えるものがあります。
しう→shiu→(iuはyuuiに置き換える)→shyuu→しゅう

問二a(5点) 正解:(ア)

口語訳に『(光る源氏は)真面目な顔をしてお通りになる。お供の隨身たちもうやうやしく、敬意を表しながら通るのに』とあるので、「光る源氏」のお供です。つまり、光る源氏とそのお供は、葵の上(=大殿)の牛車(というか葵の上)に対して敬意を表しながら、葵の上の牛車の前を通った、ということです。

問二b(5点) 正解:(ウ)

口語訳の『すっかり無視されてしまったわが有様を、この上なく堪らなくお思いになる。』にある、無視されたのは誰かということですが、これは元カノ(?)の御息所です。無視されたと言うよりも、たぶん光る源氏は、御息所と気づかなかったのではないかと個人的には思うんですけどね。御息所的には「無視されたー(´ω`)」ってな感じなんでしょうけど。

問三(10点) 正解:(ア)と(ウ)

御息所(といっても実際は、作者の紫式部)の和歌についての出題でした。

掛詞(かけことば):同音異義語を使って、2つの意味をもたせる技法。ここでは、「御手洗川」の「みた」の部分が「見た」の意味も持っています。他にも「うき」は、「憂き(思い悩む、という意味)」と「浮き」という意味も持っています。

縁語(えんご): 関連あるいは連想する2つの言葉が入っているという技法。ここでは、「(御手洗)川」と「浮く」です。

「うき」は掛詞であり縁語でもある、会心の和歌ですね。

今回の正解ではないですが、「ちはやふる」がくれば「神」というワードが来るような「枕詞(まくらことば)」も入試でよく問われますね。序詞(じょことば)は用法的に枕詞に似ていますが、入試ではあまり問われないイメージです。

古典の技法について、言葉遊びを楽しめれば勝ちだと思います。おやしギャグも、昔だったら天才技と評されたかもしれませんね。

問四(10点) 正解:(イ)

問三の解説でも書きましたが、紫式部が正解です。

紫式部は、藤原為時(ふじわらのためとき)の娘で、一条天皇の皇后である彰子(しょうし)に仕えました。父や兄は「式部省」の役人であり、これと源氏物語の登場人物の「紫の上」が、紫式部の名前の由来らしいです。

第三問(10点)

ぶっちゃけアンケートです。

以上です。